

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和04年度 対象年月： 令和 5年 3月
 会計： 一般会計
 局： 県土整備局
 所属： 県土整備局県土整備経理課（直通 045-210-6078）
 公会計事業： 県土整備事業運営費

1 主な事業内容

・土木事務所等の庁舎整備を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	R02決算	R03決算	R04決算	R02-R03増減率	R03-R04増減率
経常費用	424,502	405,645	376,197	△4.4%	△7.3%
人件費	21,333	20,330	20,357	△4.7%	0.1%
物件費等 ※	379,642	368,011	340,806	△3.1%	△7.4%
物件費	12,358	7,542	170	△39.0%	△97.7%
維持補修費	1,848	-	299	-	皆減
減価償却費	365,437	360,469	340,337	△1.4%	△5.6%
移転費用 ※	2,989	1,173	-	△60.8%	皆減
補助金等	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
純経常行政コスト(経常収益－経常費用) ①	△ 424,502	△ 405,645	△ 376,197	4.4%	7.3%
臨時損失	-	-	-	-	-
臨時利益	1,910	-	-	皆減	-
純行政コスト(①－臨時損失＋臨時利益)	△ 422,592	△ 405,645	△ 376,197	4.0%	7.3%
財源	-	-	-	-	-
税収等	-	-	-	-	-
国等補助金	-	-	-	-	-
本年度差額	△ 422,592	△ 405,645	△ 376,197	4.0%	7.3%
一般財源充当調整額	291,373	410,327	483,811	40.8%	17.9%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R03決算	R04決算	増減率	科目	R03決算	R04決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	16,264,178	16,101,757	△1.0%	固定負債	6,199,798	5,367,645	△13.4%
有形固定資産	16,264,178	16,101,757	△1.0%	負債	6,188,604	5,357,221	△13.4%
事業用資産	16,264,178	16,101,757	△1.0%	長期未払金	-	-	-
土地	9,346,325	9,346,325	0.0%	退職手当引当金	11,194	10,424	△6.9%
建物	12,741,946	12,742,936	0.0%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 6,136,196	△ 6,458,500	5.3%	其他固定負債	-	-	-
工作物	879,583	879,836	0.0%	流動負債	32,349	594,723	1,738.5%
工作物減価償却累計額	△ 592,304	△ 610,180	3.0%	県債	30,906	593,386	1,820.0%
其他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	24,824	201,339	771.1%	賞与等引当金	1,443	1,337	△7.3%
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	其他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-	負債合計	6,232,147	5,962,368	△4.3%
工作物	-	-	-	純資産合計	10,032,031	10,139,389	1.1%
工作物減価償却累計額	-	-	-	負債及び純資産合計	16,264,178	16,101,757	△1.0%
其他	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
物品	-	-	-				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	16,264,178	16,101,757	△1.0%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R03-R04の比較)は、物件費が0.07億円(97.7%)減少しています。要因としては、足柄上合同庁舎の新築工事に関連する業務委託が減になったためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R04決算の内訳は、土地が93.5億円で、資産の58.0%を占めています。そのほか、建物が62.8億円、工作物は2.7億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R04決算の内訳は、県債が59.5億円で、負債の99.8%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R04決算では、資産合計161億円から負債合計59.6億円を差し引いた101.4億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は63.0%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R03-R04の比較)は、建設仮勘定が1.8億円(771.1%)増加しています。要因としては、足柄上合同庁舎の車庫・倉庫棟などの整備を実施したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。